

本翻訳はロシアNIS貿易会監修による仮訳である。
本大統領令はカザフスタン共和国法令情報システムAdilet (<https://adilet.zan.kz/rus/docs/Z000000083>)より
ダウンロードした露文資料に基づく。

カザフスタン共和国憲法 「カザフスタン共和国初代大統領エルバシについて」

2000年7月20日付カザフスタン共和国憲法第83-II号。2023年2月13日付カザフスタン共和国憲法第198-VII ZRK号により失効。

脚注：2023年2月13日付カザフスタン共和国憲法第198-VII号（初回公布日より発効）により失効した。

脚注：タイトルは2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）、2017年6月15日付同第75-VI号（初回公布日より発効）により加えられた改正を含むものである。

脚注：2017年6月15日付カザフスタン共和国憲法第75-VI号（初回公布日より発効）に従い、文言「国民の指導者」は全文を通して文言「エルバシ」に置き換えられている。

本憲法は、カザフスタンの内外政策の主要な方向性の継承性と我が国におけるさらなる社会・経済的および民主主義的変容の確保を目的として、カザフスタン共和国初代大統領の政治的および法的地位を、同国の統一、憲法の保護、人間および市民の権利と自由の保護をもたらした新たな独立国家カザフスタンの創設者エルバシとして定めるものである。

脚注：前文は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）により加えられた改正を含むものである。

脚注：2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）により、文言「カザフスタン共和国初代大統領」には全文を通して文言「国民の指導者」が添えられている。

第1条 カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの地位および権限

本憲法は、カザフスタン共和国憲法、憲法「カザフスタン共和国大統領について」およびその他の共和国法に定めのあるカザフスタン共和国大統領の権限に加えるものとして、カザフスタン共和国大統領の行使を終えた後に関する、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの政治的・法的地位、ならびにカザフスタン共和国初代大統領－エルバシおよび同氏の特権および保障を定めるものである。

カザフスタンの国家体制創設の父であり、民主主義的、非宗教的、法的、社会的国家としての主権国家カザフスタンの発展に極めて大きく寄与したカザフスタン共和国初代大統領はエルバシである。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシは自らの地位により、特別勲功章「黄金の星」および勲章「祖国」を授与された「人民英雄」の称号を有している。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシは、カザフスタン共和国大統領に選出される権利に対する制限の適用を受けない。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシは、その歴史的使命により、以下の権利を生涯にわたり有する。

- 1) カザフスタン国民、国家機関、および公職者に対し、我が国の国家建設、内外政策、安全保障に係る最重要問題について、しかるべき国家機関および公職者による義務的な審議の対象となるイニシアティブを発動する権利。
- 2) 我が国にとっての重要な問題の審議にあたり、カザフスタン共和国議会およびその両院に対し、また、共和国政府の会合において意見を述べる権利；カザフスタン共和国憲法評議会の構成員に加わる権利。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの法的活動に対する妨害、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの名誉および尊厳に対する公然とした侮辱またはその他の侵害、ならびにカザフスタン共和国初代大統領－エルバシの像に対する冒瀆は認められず、法に基づく提訴の対象となる。

脚注：第1条は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）の文言によるものであり、2012年1月2日付カザフスタン共和国憲法第526-IV号、2017年12月22日付同第119-VI号（初回公布日より10暦日経過後に発効）、2022年2月7日付同第105-VII号（初回公布日より10暦日経過後に発効）により加えられた改正を含むものである。

第2条 カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの勲章、平和・進歩年次国家賞の創設

カザフスタン共和国議会はカザフスタン共和国初代大統領－エルバシの祖国に対する特別功労を記念し、以下の賞を創設する。

- 1) 国家褒賞－「カザフスタン共和国初代大統領－エルバシ・ヌルスルタン・ナザルバエフ」：国家活動、社会活動における市民の特別功労に対して授与、
- 2) カザフスタン共和国初代大統領－エルバシ平和・進歩年次国家賞：民主主義の発展および社会的進歩、民族間の平和と友好の強化に対して授与。

脚注：第2条は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）により加えられた改正を含むものである。

第3条 カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの不可侵権

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシは不可侵権を有する。同氏がカザフスタン共和国大統領の権限を行使していた期間に遂行した行為、また、同職の権限の行使を終えた後にはカザフスタン共和国初代大統領－エルバシの地位の行使に関連する行為について、同氏にその責任を問うことはできない。同氏を拘束、逮捕、拘禁、捜査、尋問、身体検査することはできない。

不可侵権は、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシおよび同氏と同居する同氏の家族が私有財産権に基づき所有するあらゆる資産、ならびに当該の者らが使用する住居、事務所、公用輸送手段、通信機器、通信文、および当該の者らが所有する書類に適用されるものである。また、この不可侵権は、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの財団および同氏が創設したその他の法人が所有する資産に対しても適用される。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシおよび同氏と同居する同氏の家族が私有財産権に基づき

所有する資産、ならびに同氏が創設した法人の資産に対しては、いかなる制限も課すことができない。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシおよび同氏と同居する同氏の家族の銀行機密および不可侵権は保障される。

脚注：第3条は2014年7月4日付カザフスタン共和国憲法第232-V号（2015年1月1日より発効）の文言によるものであり、2017年6月15日付カザフスタン共和国憲法第75-VI号（初回公布日より発効）により加えられた改正を含むものである。

第4条 活動の保障

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシの活動の保障、および同氏の地位の実現を目的として、事務所を設置し、同氏に対してのみ自らの職務履行に対する責任を負うカザフスタン共和国初代大統領－エルバシ事務局を置く。

共和国予算の負担をもって維持されるカザフスタン共和国初代大統領－エルバシ事務局の構造および職員数は、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシがこれを決定する。カザフスタン共和国初代大統領－エルバシ事務局職員に対しては、国家公務に関する法令を適用する。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシ事務局を設置する目的で、事務用品（一般ネットワークおよび既存のあらゆる法的データベース、国家情報システムに接続されたパーソナルコンピューター、コピー機、ファクシミリを含む）、政府通信を含む通信機器、必要なオフィス家具を備えた独立した事務所スペースを提供するほか、同事務局には輸送サービスを提供する。

脚注：第4条は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）、2013年7月3日付同第121-V号（初回公布日より10暦日経過後に発効）により加えられた改正を含むものである。

第5条 通信の保障

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシはカザフスタン共和国領内において、地方執行権力機関、国家機関および国家組織が使用する大統領通信、政府通信、およびその他の種類の通信を無償で利用する権利、ならびに通信サービスを臨時に受ける権利を生涯にわたり有する。自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシのあらゆる郵便通信および電信通信については、政府通信の一環として転送（引渡し）、処理、配送を行う。

脚注：第5条は2017年6月15日付カザフスタン共和国憲法第75-VI号（初回公布日より発効）により加えられた改正を含むものである。

第6条 カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの保護

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの保護は、カザフスタン共和国国家保安庁のしかるべき下部組織がこれを負う。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシは、その恒常的または一時的滞在地において、生涯にわたり国による保護の提供を受ける。

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシの家族であって、同氏と同居

または同氏に同行する家族もまた、国による保護の提供を受ける。

脚注：第6条は2014年7月4日付カザフスタン共和国憲法第232-V号（2015年1月1日より発効）、2017年6月15日付同第75-VI号（初回公布日より発行）により加えられた改正を含むものである。

第7条 住宅の保障

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシに対しては、事務所および国有の別荘が、国による保守を伴う形で資産として譲渡される。

第8条 輸送の保障

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシには運転手付き自家用車が生涯にわたり提供されるほか、同氏と同居する家族には公用車を利用する権利が付与される。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシは生涯にわたり、無償で国内を旅行する権利、ならびに公人および訪問団のためにホールを利用する権利を有する。

第9条 財団、博物館、鏡像、個人文書館、個人図書館

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシによるカザフスタン共和国大統領の権限行使期間中に、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシ財団、個人図書館、個人文書館を創設し設置する。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの個人図書館および個人文書館は国民的財産であり、国がこれを所有する。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの故郷、およびカザフスタン共和国の首都に、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの博物館を設立し、鏡像を設置する。

脚注：第9条は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）の文言によるものであり、2013年7月3日付カザフスタン共和国憲法第121-V号（初回公布日より10暦日経過後に発行）により加えられた改正を含むものである。

第10条 医療および衛生・保養に係る保障

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシ、および同氏と同居する家族は、カザフスタン共和国初代大統領－エルバシがカザフスタン共和国大統領の権限の行使を終えた日において同氏に提供されていた規模および種類における医療サービスおよび衛生・保養治療を無償で受ける権利を生涯にわたり保持する。

脚注：第10条は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）により加えられた改正を含むものである。

第11条 年金保障および保険

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシはその年齢の如何によらず、カザフスタン共和国大統領の俸給月額額の80%の額の年金を毎月受ける権利を有する。この際、カザフ

スタン共和国初代大統領－エルバシの年金は、カザフスタン共和国大統領の俸給引き上げを加味して増額する。

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシの生命および健康は、カザフスタン共和国大統領の俸給年額に等しい額において、共和国予算の負担をもって、強制国家保険の対象とする。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシと同居する同氏の家族各々は生涯にわたり、同氏の死亡日にカザフスタン共和国の法令によって定められていた老齢年金の最低額の10倍に等しい額の手当ての支給を毎月受けるものとする。

自らの権限の行使を終えたカザフスタン共和国初代大統領－エルバシおよび同氏の家族に対しては、本憲法に定めのある保障に加えてその他の保障が提供される場合がある。

第12条 カザフスタン共和国初代大統領－エルバシへの資金提供源、および活動の保障に係るその他の問題

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシの財団の資金補充と維持およびその事務所の保安、個人図書館および個人文書館の維持に係る費用を含め、本憲法に定めのある費用への資金提供は、共和国予算の負担をもってこれを遂行する。

カザフスタン共和国初代大統領－エルバシおよび同氏と同居する同氏の家族に対する住居、医療、衛生・保養、輸送、およびその他のサービスは、管轄の国家機関がこれを確保する。

脚注：第12条は2010年6月14日付カザフスタン共和国憲法第289-IV号（発効手順は第2条を参照のこと）の文言によるものである。

第13条 本憲法の発効手順

本憲法はその公布日より効力を発するが、ただし、第2条、第9条の規定は2001年1月1日より発効するものとする。

大統領

カザフスタン共和国